♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

１月に宇久井半島で見られるなかまたち！

「キンカメムシ科　オオキンカメムシ」
体長 20-25㎜。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。大きな葉の裏に集まってじっとしている。

「コショウ科　フウトウカズラ」
日本に自生する数少ないコショウ属の一つ。見かけはコショウに似ているがコショウの代用にはならない。

「ヒガンバナ科　スイセン」
冬から春にかけて花を咲かせる多年草。葉がニラと似ているため、間違えて食べると食中毒をおこす。

☆「モチノキ科　クロガネモチ」☆
「苦労がなく金持ち」花の少ない冬を彩り庭木として人気。常緑だが寒さと乾燥で全ての葉を落とすこともある。

☆「サクラソウ科　マンリョウ」☆
「万両」果実は葉の下に幹を囲むようにつける。栽培品種には果実が白や黄色の物もある。

☆「センリョウ科　センリョウ」☆
「千両」果実は葉の上につける。江戸時代初期から栽培され生け花などに用いられている。

☆「サクラソウ科　ヤブコウジ」☆
別名「十両」高さ 10～20cm。葉の縁に細かい鋸歯がある。古典園芸植物の一つで明治時代には栽培が大流行した。

☆「サクラソウ科　ツルコウジ」☆
茎は地をはい、全体に褐色の軟毛がある。葉の縁にあらい鋸歯が目立つ。群生している。

☆「ショウガ科　アオノクタケラン」☆
湿った林下に生える常緑多年草。直径約 10㎜ の赤い実をつけている。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類に指定。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪
駒…駒が崎で観察することができます。

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
皆さまのお越しを職員一同お待ちしております。　　令和四年　　元旦

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2022 年 1 月前半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園
宇久井半島見どころマップ　冬版

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m

○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❸　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ
カルガモ

千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

外の取

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

至休暇村

畑

ヤブツバキ
ヤマモモ

N
W
E
S

至 R42

マルバウツギ

メンテナンス中
立入禁止

敵船監視場跡

ビジターセンター

トベラ

作業ヤード

アキグミ
ヤブツバキ

ヤマモモ
ヒサカキ
ヘラシダ
ツルコウジ

モチノキ

竹林

ヤブツバキ群生地
足元注意

オガタマノキ
蛭子神社跡地

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

ヤブコウジ
ヤブツバキ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

ヒサカキ

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ
シロダモ
キノクニシオギク
アゼトウナ

松尾展望広場

カラスザンショウ

周回ルート

沢

シロダモ

ヒサカキ
アオノクマタケラン
クスノキ

赤灯台

ウバユリ
竹林
ツルコウジ

トベラ

スダジイ

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

タイミンタチバナ

地玉（じごく）の浜

ヤブニッケイ
カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分
ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ

タブノキ

木のすき間から浜が見えます。

モチノキ

モチツツジ

オオキンカメムシ

駒ヶ崎灯台

凡例
- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段